

令和5年度 香蘭ファッションデザイン専門学校 新入生保護者会(配布資料)

挨拶

「ファッション業界」という新たな道を選び、新しい一歩を踏み出した皆様、お子様のご入学おめでとうございます。また、多くの学校より弊社にお子様の教育を託していただき感謝申し上げます。

私たち教員もこのご縁を大事にし、全職員一丸となり、業界で活躍できるため、多くの知識・技術を余すことなく責任を持って伝承し、最終的に業界へ送り出していきたいと思っております。

学生自身、自ら選択した道を「初志貫徹」の精神で貫き通すには、自己努力が前提ですが、学校とご家庭で連携し、共に学生の成長を促していければと願っておりますので、ご協力を賜れば幸いです。

昨年までは新型コロナウイルス感染症の影響で、教育にも若干支障はございましたが、現在は通常通り対面で授業を行っております。本校は専門学校ですので、専門業種に特化した「技術」を教授する事が求められます。それ故に対面で実施せねばならない授業の方が多く、ご理解していただきたいと思っております。今後の本校のコロナ対策は、政府の指針に沿い、順次状況を見ながら判断して行なってまいります。どうかご理解とご協力を賜れば幸いです。

また、お気付きの点がございましたら、ご遠慮なくご相談いただければ幸いです。

香蘭ファッションデザイン専門学校
学校長 深田 勝久
令和5年4月7日

◎香蘭ファッションデザイン専門学校教員 組織図

【◆学校法人山内学園幹部：運営】

理事長：坂根 康秀（香蘭女子短期大学 学長兼務）
学園総務部長：篠原 慶朗

【◆専門学校幹部：運営】

学校長：深田 勝久
副校長：宇土 ユカ
主幹教員：溝口 希弥子
事務長：内野 太
事務次長：工藤 妙子

【◆事務局】

事務局管理：内野 太
就職・庶務：工藤 妙子
学生・庶務：伊東 恵
経理・庶務：因 真由美

◎学生数

● ファッションデザイン専攻科3年	33人
● ファッションデザイン専攻科2年	37人
● ファッションデザイン専攻科1年	39人
● ファッションデザイン科2年	18人
● ファッションデザイン科1年	32人
● ファッションテクニカル科2年	37人
● ファッションテクニカル科1年	26人
● ファッションビジネス科2年シヨッププランニングコース	14人
● ファッションビジネス科2年ファッションコーディネートコース	8人
● ファッションビジネス科1年	29人
合計	273人（令和5年4月7日現在）

◎学校法人と本校の教育理念

香蘭ファッションデザイン専門学校は学校法人山内学園（香蘭女子短期大学・専門学校・幼稚園3園）で構成された、グループのひとつです。

学校法人山内学園の建学の精神は「いかなる困難な場にあっても、創意・工夫を大切にし、人を愛し、人から愛される自立した人材の育成」を建学の精神としております。建学の精神を基に、簡潔に、そして分かりやすく馴染み深いものとするため、教育理念としての学訓「**創意・自立・敬愛**」と定められており、建学の精神を実現する教育に専念することを、全ての職員が共有して行動する、としています。

学校法人山内学園 香蘭ファッションデザイン専門学校は、学園の建学精神に則り、昭和10年の開校以来、「**人間教育と技術教育**」（確かな技術を有し、人を愛し人に愛される人材の育成）を教育方針としております。

職種に沿った技術習得は当然のことながら、習得した技術を業界で存分に発揮できる「自立」した人材を育成する事に重きを置いています。

○教育理念の「人間教育」とは・・・専門職に必要な高度な技術を有し、業界、または社会で人から必要とされ、自立できる人材を育成する事がその理念の根幹です。私たち職員一同は教育に携わる者として、学生の成長を第一として捉え、ファッション業界で必要とされる技術を、持て余すことなく教授します。そして、責任を持って学生と向き合い、学生が自立するにあたり、時には厳しくとも愛情ある指導を心がけてまいります。また、「人間味のある」人材育成に取り組み、特に誰にでも快い「笑顔」と「挨拶」と「返事」の指導の徹底と、卒業後社会で仕事をする上での「約束事：提出物の厳守。遅刻・欠席の指導」には比重を置き指導します。

○教育理念の「技術教育」とは・・・在籍中に習得する服作りの技術の高さは、本校の一番の特徴です。日々行われるカリキュラムは、年度毎に業界の動向と比例させ見直し、より効果的な内容に刷新しています。（※本校HPにカリキュラムとシラバスを開示しております）その結果は各科検定取得や、全国の各種コンテスト受賞結果にも反映されており、全国的にも高い知識と、技術を有している学生を送り出していると自負しております。本校教職員は学生には分け隔てなく平等に指導しますが、取得できる能力は個人差があります。まだ学生故に、早い段階での高度な技術習得や、絶対的な完璧を求めませんが、業界の専門職に着くには、日々の鍛錬が必須です。専門学校故に時間に限りがあります、それゆえ時間外での課題（宿題）は避けられない教科もありますので、ご理解を賜りたいと存じます。私たち職員も、柔軟に向き合う姿勢も指導してまいります、うまく進まず、課題が溜まり悩むこともあろうかと思っております。そんな時は、定期的にご家庭でも進捗状況等お声がけいただき、励ましていただければ幸いです。

◎Diploma（ディプロマ）：専門学校とは/資格取得

●専修学校は、昭和51年に新しい学校制度として創設されました。学校教育法の中で専修学校は、「職業若しくは実生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る」事を目的とする学校であるとされ、実践的な職業教育、専門的な技術教育を行う教育機関として、多岐にわたる分野でスペシャリストを育成しています。

●平成25年から文部科学大臣認定「職業実践専門課程」の制度が開始され、本校は文部科学省規定の厳しいチェックを受け全学科認定を得ました。卒業時の認定は「専門士/職業実践専門課程 服飾専門課程 各学科名」

服飾・家政 (Fashion and Home Economics) となります。

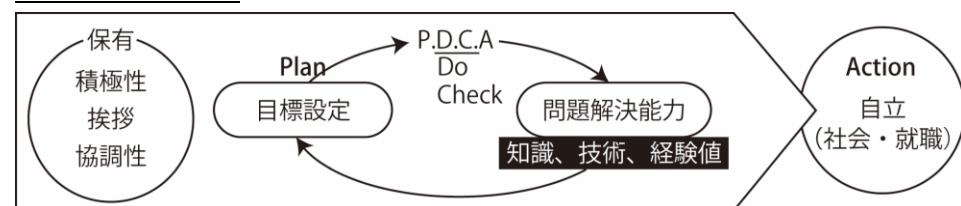
●各学科所定の検定受験、検定取得は授業のスクーリングが含まれていますが、検定合格は各自努力が前提です。在学時受講した知識を押し量るべく「検定取得」を目指して努力を怠らぬように頂きたいと思っております。

◎職業実践専門課程

平成26年度より専門学校は文部科学省 文部科学大臣認定の「職業実践専門課程」の認可を全学科取得しました。受動的な学校のみでの教育だけでなく、今後は業界の力を借りて人材を育成する事が求められます。つまりは、「産・学・官」で人を育成する事が必要とされる認定が「職業実践専門課程」です。その主な趣旨は「即戦力」または「専門業界人の育成」です。「技術」の習得は当然ですが、更に「コミュニケーション力」の育成が加わりました。現在社会全体として「社会人基礎力」の向上が問われています。

本校では「社会人基礎力」の向上を遂行するにあたり、教育理念に沿って「挨拶」をはじめ、「積極性」「協調性」を有し、「目標設定」「問題解決能力」を養うには、実務経験を通して経験値を高め、最終的に「自立」を促していく教育を行っています。

教育のスキーム



弊校は開校当時から「人間教育と技術教育」という理念を一貫してきたおかげで業界から高い評価を得てきました。いかなる時代でも社会人として必要な「人を愛し人に愛される人材」＝「挨拶/積極性」＝「社会人基礎力」に重点を置き社会に必要な人材を的確に育成し続けてきました。

本校の教育方法は本校の教育理念に則り、各学科育成する人材像を目標に特徴あるカリキュラムを構築しています。それぞれの学科で、「専門知識」と同時に「社会性」を育成しながら、個人で単年度の「目標」を設定させます。定期的に自分の目標にズレがないかを、受講する授業と、定期的な担任の面談を介して今必要な課題に気づかせます。教員と学生の目標の齟齬が起きる要因と考えられるのは、専門スキル習得ゆえに得なくてはならない「知識」「技術」「経験値」が少なく、また、授業の出席が足りず起こるものがその大半です。何を苦手としているのか、またなぜ足りなかったのかを考えさえ、その都度修正しながら最終的に自立出来るように促していきます。1年時は何もうまくできない事が当然ですので、積極的に授業に参加し、反復する事で確実に知識と技術を習得します。そして、確かな基礎力を身につけ、上級生では、専門職の知識・技術を応用できるように指導してまいります。

今後は明確に誰の目から見ても評価される「仕事をする意識形成/職業人育成」が求められています。私達教員は「人間教育と技術教育」を目標に指導してまいります。是非ご家庭のご協力も賜りたいと思っております。

◎教育目標：学科の人材育成像

ファッションデザイン専攻科：3カ年

【令和5年度学科テーマ：ファッション業界で生きぬくスペシャリストの育成。】

◆学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、ファッションデザイン専攻科では感性豊かな発想力、実行力を身につけ、次世代のファッション業界のリーダー的存在となる、グローバルに活躍できる人材を育成する。アパレル分野におけるクリエイターとしての感性、技術、提案力を習得し、アパレル企業の企画職（企画職・デザイナー・パタンナー、CADオペレーター、モデリスト）を目指す。

○香蘭ファッションデザイン専門学校の中で3カ年年は最高年の学科であり、学校を代表する学科である。

在籍する学生は、ファッション業界で活躍するという高い意識を持ち入学している。

指導方針は、学校の教育理念に添いながら、学生時に多くの経験をさせる事に重点を置き、その内容「自ら考える力」＝思考力と情報収集力、考察力をつけさせ、「自らの意思で発言する」＝プレゼンテーション能力をつけさせ、「早く自立」＝自らの意思で実行・行動できる力をつけさせる。その結果、技術力、人間力同時に育成させることができる。

●ファッションデザイン専攻科主任：宇土 ユカ（副校長 兼務）

○ファッションデザイン専攻科3年担任：宇土 ユカ 副担任：鈴木 綾

○ファッションデザイン専攻科2年担任：今村 大祐 副担任：熊谷 朋美

○ファッションデザイン専攻科1年担任：大古場 真由美 副担任：熊谷 朋美

ファッションデザイン科：2カ年

【令和5年度学科テーマ：・自立とチームワーク・デザイン力強化】

TEAMの語源説であるTogether、Everyone、Achievement、Moreのように、皆で一緒により多くのことを達成し、一人で行うよりも大きな喜びや達成感、そして結果がついてくることを学んでほしいと考える。

そのためにも各自が目標を持って行動し、ファッションを学ぶことを楽しめるよう努める。

◆学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では、ファッションデザイナーに欠かせない感性と発想力を元に、情報収集、企画、造形、コミュニケーション能力を身につけた人材を育成する。卒業後は企画職・デザイナー・パタンナーを目指す。

○香蘭ファッションデザイン専門学校のファッションデザイン科は、主に企業デザイナー（売れるデザインを提案する）を育成する学科である。

○在籍する学生は、ファッションが好き、またアパレル企業で活躍するという高い意識を持ち入学している。

○2年間という限られた期間での、売れる商品デザインという焦点に絞ったファッションデザイナー教育では、各自の感性教育は当然のことながら、その反面、客観的にデザインを見る力も必要である。

そのために、与えられた企画に対して、トレンド性、収集したデータ、その結果、相手が求めるデザインを具現化する力を育成。

●ファッションデザイン科主任：堤 麻実子

○ファッションデザイン科2年担任：堤 麻実子 副担任：岸川 真子

○ファッションデザイン科1年担任：一明 豪（1学年主任） 副担任：岸川 真子

ファッションテクニカル科：2 年

【令和 5 年度学科テーマ：唯一無二の縫製スキルと調整力】

◆学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科ではアパレル分野における設計や製造に関する高度な知識・技術を有する「唯一無二の多能工が可能な縫製士」を育成する。クリエイティブを具現化できる洋裁士、パタンナー、ソーイングオペレーターなど「物作り」のスペシャリストを目指す。

○香蘭ファッションデザイン専門学校のファッションテクニカル科は、主にファッションビジネスの根幹を支える、高度な商品作り（物作り：縫製職人）の人材を育成する学科である。

○在籍する学生は、物作りが好き、縫うのが好き、平面を形にするのが好きなど、服作りを将来の職種（職人）にしようとする、意識の高い学生が集まる学科である。

○香蘭ファッションデザイン専門学校にしか無い「唯一無二の縫製スキルと絶対的技術」（縫製企業での卓越した縫製技術、パターン力、早期にサンプル縫製まで到達できるようトワルカの向上）の習得を最大の目標とする。

○職業実践専門課程での取り組みでもある、学内で「商品を縫う」という経験は、商品を世に送り出すという緊張感と同時責任を与える事が出来る。「商品化」は本来の専門学校のあるべき姿である。

○習得した技術が、形として見える手立てとして、中央職業能力開発協会主催の「技能五輪全国大会」への出場を目指し、取り組む。技能五輪全国大会は、青年技能者の技能レベルの日本一を競う技能競技大会であり、その目的は、次代を担う青年技能者に努力目標を与えるとともに、大会開催地域の若年者に優れた技能を身近にふれる機会を提供するなど、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重機運の醸成を図ることである。「技能五輪」への予選出場は「婦人子供服製造技能士実技」の資格認定とされ、実社会で技術の担保となる為、23 歳以下の条件を満たした学生でエントリーとする。

●ファッションテクニカル科主任：野田部 寛之

○ファッションテクニカル科 2 年担任：野田部 寛之 副担任：山崎 菜穂子

○ファッションテクニカル科 1 年担任：江端 由恵 副担任：山崎 菜穂子

ファッションビジネス科：2 年

【令和 5 年度学科テーマ：知識、経験、テクニック、そしてホスピタリティ精神。自分が身につけるものは全てファッション！ファッション好きを究める！】

◆S P（ショッピングプランニングコース）：学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では専門知識とホスピタリティを兼ね備えた人材育成を目標とし、企業連携型の実店舗、EC サイトの企画・運営・プランニング提案を通して、マーチャンダイザー、営業、EC 担当職の知識・経験を習得し、最終的に企業ができる人材を育成する。

◆F C（ファッションコーディネートコース）：学校教育理念に掲げられている「人間教育と技術教育」を根幹とし、学科では専門知識とホスピタリティを兼ね備えた人材育成を目標とし、企業連携型の実店舗による接客を通して、ファッションアドバイザー・パーソナルコーディネーター・スタイリストに必要な知識と経験を習得し、時代と顧客に寄り添った接客ができる人材を育成する。

○香蘭ファッションデザイン専門学校のファッションビジネス科は、主に消費者と一番先に出会う店舗の顔であり、いつでも気持ちの良い大きな声での挨拶と笑顔を絶やさず、ビジネスを「売り上げ」という「数字」で根幹を支えるために、流行に敏感である重要な人材を育成する学科である。

○誰よりもファッション感性が高く、同時に服への拘りが強い人材が多く在籍する学科である。

○教育理念の人間教育を「人間関係を大切にしながら相手に対して思いやりの精神」を持たせることを前提としながら、人材育成をする。

ただ、利己的にかつ一方的に商品を提供しても売買は成立しない。相手が何を望んでいるのかを、読み取る力を有するには、「傾聴力」が必要である。ただし、傾聴力だけでなく、商品知識、トレンド、配色、素材、またビジネスを展開する上で数字を取る事が優先である。さらには、消費者に寄り添いながら、相手目線で提案する能力と、多くの知識が必要とされる。

●ファッションビジネス科主任：松延 直明

○ファッションビジネス科 2 年 SP 担任：平尾 真州美 副担任：村川 俊樹

○ファッションビジネス科 2 年 FC 担任：平尾 真州美 副担任：村川 俊樹

○ファッションビジネス科 1 年担任：松延 直明

香蘭ファッションデザイン専門学校の教育理念に基づいて、ご家庭へのご協力願い

- 1 「**積極的な挨拶の奨励**」本校の教育理念である「人間教育」を行っていく上で、「社会人基礎力」を確実に身につけ、人とのコミュニケーションを円滑に図る事も目的としております。そのために「挨拶の徹底」を指導しております。積極的に挨拶をと言っても、普段から慣れていないと急にできるものではありません。学園生活の中は指導していきますが、ご家庭でも「挨拶」に関してお声かけください。
- 2 「**社会的信用**」 私たちが重要視するのは、自らの将来を見据えて「ファッション業界」の道を選択し、自らの意思で本校へ入学しているという事ですので、初志貫徹の気持ちを持ち、責任＝約束を守るという事ですので、途中で諦めずに卒業を達成してください。私たち職員と学生の向き合う場所は学校ですので、学生のプライベートまで干渉いたしません。日頃の出席状況（遅刻、早退）は、学生の業界に向き合う姿勢と判断させていただきます。日頃からの健康管理は当然のことながら、学校は集団生活であり、多くの人が関わっているという意識と自覚は持っていただきたいと思えます。

課題提出についても同様です。私たちは「課題」を与えられた「仕事」、提出日を「納期」として捉えています。授業・講義を受け、何を学んだかを形にするものが「課題」であり実社会では商品となります。業界は一見華やかに見えますが、基本的に「納期」に対して大変厳しいですので、学生時代から「納期」を守るように指導していきます。

「職業人育成」の観点で、個々の能力にも配慮しますが、専門学校だからこそ、出席・課題提出に関しては厳しく指導しています事をご理解していただきたいと思えます。

また、出席に関して、面談・改善を促してまいります。改善が見られず、著しく目立つ場合、就職に対して学校推薦は行えなくなります（※学生に来週配付予定の「学生要覧」参照）ので、ご家庭でも出席に関しては、お子さんにお声かけください。しかし改善期間を設け、自主改善後には、通常通り推薦・斡旋していきます。

- 3 「**情報の共有**」現在大きな問題が起きています。前述しました「社会的信用」に付随し、学校は学生を預かる責任として、全学生の出席に比重を置いています。そのため、主に学校から欠席に対してご連絡を差し上げますが、学生又は、ご家庭（緊急連絡先）にお電話しても不在、留守電、最終的には着信拒否という問題が出ており、学校としましても対応に苦慮しております。日中のご両親様はじめ、ご家族の皆様のお手を煩わす事は基本的に避けたいと思えますが、「不在」「着信拒否」が起きると、学校とご家庭の情報の共有ができません。学校としては、連絡が取れずにいると事故または事件性など心配されます。学校事務手続きをはじめ、就職にも大きく影響を及ぼしてしまいますので、必ず連絡が取れる手立てを講じて頂くようご協力頂きたいと思えます。（特に一人暮らしのお子さんの場合、不通となる事が多いので、ご家庭でもご指導いただければ幸いです）

- 4 「**健康管理**」全ては体（健康である事）が基本です。日頃からの健康管理、特に睡眠をはじめ、食事には十分配慮して頂くようお願いいたします。アルバイトが深夜に至る場合や、アルバイトを複数している場合に体調を崩

しがちです。体調不良からの寝坊は自己改善に努めることや、慢性的な体調不良も、定期的な受診を心がけ、学生時に改善することをお勧めします。

- 5 「自立心」大多数が最終学歴となる専門学校。この学生時代に自ら問題を解決できるスキルを身につけて頂く事が、専門学校の「職業人教育」での到達点です。社会に出る前に、各々の個性はあると思いますが、「受動的ではなく能動的に行動する」スキルも身につけておかねば、得るものが一方的になります。これからの時代はさらに「自ら考え積極的に行動し、自立する」事が重要になってきますので、ご家庭でも積極的に「自立」するよう背中を押していただければ幸いです。

私たち教員は、常に学生の成長を第一に考え、学生に寄り添い精一杯指導いたしますが、熱心がゆえに、時には厳しい言葉で注意をする事や、接する事もあります。厳しく指導された学生は「何故自分ばかり？」や「怒られている」と思う事もあるかもしれません。私たちは個々の能力にも配慮しますが、基本的に学生全体を平等に接していきます。ご理解いただきたいのは、学生とはいえあくまでも専門学校の最終的目標である「自立した職業人育成」を行っているということをご理解頂ければ幸いです。

◎その他

今後、新型コロナウイルス感染症についての本校の対策については、私たち教員も安全対策を講じますが、基本的姿勢として、政府行政機関の指示に従い、状況を見ながら対応してまいります。

再び感染が拡大した場合、授業では密を避けなければなりません、技術を教える本校では、服作りの技術を遠隔で解消するものではありませんので、基本的に対面での指導であるというその旨のご理解は頂戴したいと思います。

また、仮に再度ロックダウンする事があれば、学生には「自宅学習」、「遠隔授業」、「リモート授業」という不自由を強いなくてはならない事もあるかもしれません。そのために是非、家庭内の通信環境、カメラ付きのタブレットもしくはPCの購入を推奨いたしますし、授業のレポートや情報収集などでPCは必要です。

教材費には含まれておりませんので、ご家庭の負担にもなるかもしれませんが、小さな画面のスマートフォンでのリモート授業は限界がございます。どうぞご検討いただければ幸いです。

◎学外研修（国内外研修の実施）について

ファッション業界は今後、グローバル化は必須です。単なる旅行でも多くのことを経験できますが、海外のファッション事情は、実際に経験してみないとわからない事もあります。それはその場の空気に触れ、五感で体験するという事です。

本校は例年、希望者を募り海外研修を実施しております。在校生全員参加となれば、学費の値上がりとなってしまい、ご家庭のご負担となってしまいます。あくまでも個人での実費参加となっておりますことをご了承ください。

現在本校はイタリア IED (Istituto Europeo di Design) と、フランス AICP (Academie Internationale de Coupe de Paris) と提携しており、現在はフランス AICP での研修を計画しています。

事前に参加者を募りますが、催行人数を満たさない場合や、これから円高の影響で旅行代金が高騰した場合、また燃料サーチャージで今以上に金額が高騰するようであれば、研修事態を中止する場合があることもご理解ください。

その際、本校と契約しております旅行会社との契約で発生した違約金は、各家庭で負担していただく事をご理解していただきたいと思います。旅行会社の違約金がどの時点で発生するかは分かりかねますが、違約金が発生する前に最終的な判断を行いますので、ご安心ください。

以上

「ファッションを学ぶ学生に向けての生活指導について」

副校長 宇土ユカ

「人間教育と技術教育」の基、「職業人の育成」が私たち学校の目指す方向です。自ら選んだこの道、「自立」を促すために、今、自分がやらなくてはならない『学業＝技術取得』を「最優先」してもらいたいと思います。

本校は担任制度を取っており、他校に比べ幾分学生に寄り添い意見を聞きやすい体制が整っておりますが、全てを受け入れることは困難です。特に技術に関して受け身では、「自立」できなくなってしまいます。厳しいかもしれませんが、時には「自立」を促すが故に指導させて頂く事もありますので、ご協力願います。

担任とはいえ、私たち教職員へ言いづらい事もあると思います。その時は是非ご家庭で話を聞いてあげてください。「ものづくり」は思い通りに行かず、何らかのストレスが蓄積しがちです。しかし、その思いを吐露するだけで随分と楽になります。そして「頑張っているじゃない」と声をかけてあげてください。周囲の何気ない暖かな言葉が、本人の迷いを払拭させる事がよくあります。

「自分ではできない」「無理だ」さらに「自分に向いていない」と自分自身を追い込みすぎると、歩みが止まり、他者との比較を安易にする事には注意が必要です。折角夢を持ってこの学校に来ています。簡単に夢を諦めて欲しくありません。これからの長い人生、継続することによる自信を得て欲しく、寄り添っていただければ幸いです。

「焦ることはない」と促したいと思います。この世の中、時にファッション業界は努力の積み重ねです。最初から全てを出来る人などいません。専門学校ですので、私たちは惜しまず指導していきますが、その上で全てがパーフェクトの必要はありません。得意な分野を突き抜けて伸ばせば良いのです。

学校故、最低限の常識だけは持っていただければ、それが本人の個性になります。

学校での状況を定期的に「出席統計、成績表」を送らせていただきます。その折はご本人と自ら選んだ道の成果と就職への意識付けへのご指導もご協力頂ければ幸いです。そして、お子様の学校での状況を私たちと共有していただければと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

皆の憧れの職種、ファッションの仕事は奥深い世界です。学生時代は人一倍デザインなど様々なことに興味を持って下さい。また、流行に敏感になり、物を見る視野の広さを身につける必要があります。学生時代に多くのことにチャレンジして実績を作る必要もあります。地元福岡のデザイナーと首都圏のデザイナーの求められる資質は違います。学業も行いながら、同時に就職も視野に入れ歩んでいきます。適性に合った資質を活かして下さい。

令和4年度の本校の就職率は98%（3月31日現在、就職希望者80名中78名）でした。世情の厳しい中、専門職ならではの求人確保し、実績を保っています。在学中にインターンシップをはじめ、コンテスト受賞等の経験はプラスに講じることが多いです。全国規模の各種コンテストは首都圏中心で行われることが多く、経済的に無理のない限り出来るだけ自己投資として積極的にエントリーする事も大事かもしれません。

自分自身の一生を左右するキャリアの基礎を学ぶ日々です。クラス、事務局共に協力し、学生を全力でサポートしていきたいと思っています。

なにとぞ、ご家庭でのご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

以上

令和5年4月7日